

レーザー学会産業賞「優秀賞」受賞



ファイバーレーザマシン FOL3015AJ

株式会社アマダ



FOL-3015AJは、全軸リニア駆動のフライングオプティクス型ファイバーレーザマシンで、出力4kWの自社製ファイバーレーザ発振器搭載に加え新たなアプリケーション技術を融合させたことで、次世代レーザ加工機に求められる要件（難加工材への対応・省エネ・知能化）に対応することが可能になった。

特長

銅、真鍮、チタン、非金属等、CO₂レーザでは難しかった加工への対応を可能としたほか新素材加工技術対応ソフトによる最適加工条件の自動設定ができる。さらに波長1 μm帯で高品質なレーザ光は幅100 μmという超微細加工を可能にすることに加え、薄板（板厚1mm）アルミニウム材の超高速加工（毎分60m）を実現。切断速度を飛躍的に向上（CO₂レーザ比 2.5倍～3倍）させることができる。また、レーザ発振器はシンプルな発振構造のため暖気運転の必要がなく、待機電力の大幅削減が期待できる。しかもレーザガスが不要なことや機構的に外部光学装置も少ないとから、CO₂レーザ発振器搭載機に比べランニングコストを70%以上削減、メンテナンス項目・頻度も減らすことができるなど優れた経済性をもつ。環境負荷の面でも大幅にCO₂排出量を低減できる。

仕様

- 早送り速度 : (X、Y、Z) 合成340m/min
- 最大加工範囲 : (X、Y、Z) 3070×1550×100mm
- 発振器 : 4kW アマダ製
- 最大加工板厚 : 鉄 22mm、ステンレス 18mm、アルミニウム 16mm